発表No.

【事業領域】

テーマ

新天地でみんなが活躍できるサークルを目指して

107

<u>~バスケが成長させてくれた私とサークル~</u>

会社・事業所名(ふりがな)

ぼうしょくかぶ おおぐちぎふこうじょう トヨタ紡織㈱ 大口岐阜工場 発表者名(ふりがな)

いちかわ りょう





生産拠点 121拠点 社員数 <sup>日外時編</sup> 社員数 AI場 子会社 **56,000**人

世界中で作って、世界中にお届けしています。



当社は大正7年創業、愛知県刈谷市に本社を置き、 世界各地に拠点を展開し、事業領域は3事業を展開。 マテリアリティのもとインテリアスペースクリエイターとして 社会に貢献している企業です。

### Z. 工場紹介



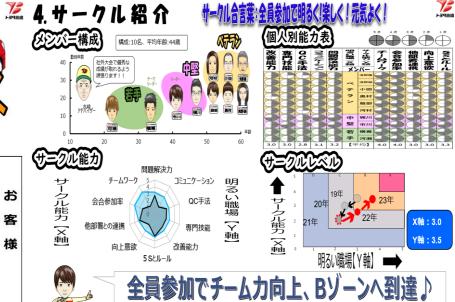
私の所属する岐阜工場は、

- 一人ひとりが『工場の主役』
- ~意欲と改善で職場力を上げよう!~ をスローガンに自動車の外装部品であるバンパー等を 生産しています。

#### 3. 職場紹介



私は生産管理Gに所属し、補給部品の受注から出荷 までを管理する工程を担当。修理を待つお客様へ 1分・1秒でも早く商品をお届けできるよう日々業務に 取り組んでいます。



サークル紹介です。メンバーは平均年齢44才。 「全員参加で明るく!楽しく!元気よく!」を合言葉に 活動しています。今回の事例でサークルレベルがCゾーン からBゾーンへ到達したサークルです。

						サークル名	(フリガナ)	PC出力形式
Q	С	サー	クリ	ル紹	介	Carry	キャリー	RGB · HDM I)
本	部	登	録	番	号		サ - ク ル 結 成 時 期	2007年 5月
Х	ン	八	_	構	成	10名	会合は就業時間	内・外・両方
平		均	年		龄	44歳 (最高 59歳、最低 22歳)	月あたり会合回数	3回
テ		_	マ		暦	本テーマで 20件 社外発表 4回目	1 回 あ た り 会 合 時 間	0.5~1時間
本	テー	マの	活	動期	間	21年 10月 ~ 22年 3月	本テーマの会合回数	15回
発	表	者	の	所	属	大口岐阜工務部 岐阜工務室 生産管理G		勤続 24年



自己紹介。私はバスケー筋の42歳。小学2年生で バスケと出会い、入社後もバスケを続け、現役引退後は、 外部コーチとして子供達にバスケを通し、心・技・体といった 点を教え、教えられています。

## 7/2001年入社 けってやるそ! 大口工場 成形天井

6.私の経歴(新入社員~)

73 Hanne



2001年トヨタ紡織に入社、愛知県の大口工場へ 配属。自動車の内装に使う成形天井出荷業務 に携わっていました。業務に悩むと、よく上司から 「一人で悩むな!」と激を飛ばされ、バスケで言う ところの一人でプレーするな!と気づかされました。

#### 7.私の経歴(職制~)





2010年からテーマリーダーを経験し、メンバーひとり一人と 向き合い、悩みながら、問題解決に走り回った6年間。 リーダーになってからは、更に強いチームを造ると決め、 メンバーのスキル向上活動と、切磋琢磨できるサークル

# 🌽 8.私の経歴(武者修行~) 専門知識の習得 社外出向!? 広範的id根野 用けてみよ

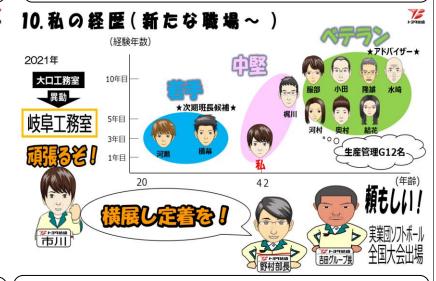
そんなある日、上司から出向の話があり、メンバーの 成長や自身の弱点だった専門知識の習得、広範的な 視野を身に着けたい!と思い出向を決意しました。

#### 9.私の経歴(武者修行 ~)

づくりに励む毎日でした。



そして、2018年からトヨタ自動車へ出向! 補給部品の原価低減活動の推進が主な業務。 多くの方に出会い、初めての経験を積み重ね、チームワークの 重要性を再確認する事ができました。



帰任後、この貴重な経験の横展と定着を期待され、 岐阜工場へ異動!

新天地は、自身のスキルアップチャンスの場と考え、 意気込んで新たな職場へ。

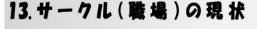
メンバー構成はベテランが多く、バスケ経験者の横幕君や 体育会系の吉田G長は、とても頼もしく感じました。



ある日、職場のQCサークル活動板に目が留まり、現在の サークル能力・レベルを見た時でした。

どうやら年々低迷している様子。サークルの状況を何も 分かっていない私は不安を感じていました。 そんな私に、山北室長より「感染対策を徹底する中、大変だけど頑張って行こう!」。私は「任せてください!」とは言ったもののやる気だけでは、、

低迷気味且つコロナ禍でどういう活動をするべきか 悩む日々が続きました。





「まずは飲みにケーションから!」と思いましたが、 コロナ禍ではとても無理。それ以前にそもそも飲み会 への拒否反応が強く、不安は大きくなるばかりでした。



更に、職場でも徐々にメンバーの距離が離れ、 会話も減り、それぞれが壁を作り始め、仕事を 抱え込むように。これはヤバい!



コロナ禍をどう乗り切れば・・・吉田G長へ相談。 リーダー候補の横幕君の育成を継続し、パス回しと メンバーのスキルアップを前向きに考えていくよう 助言を受けました。

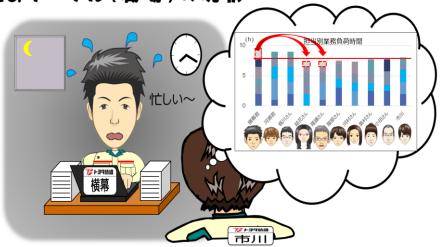
まずは業務スキルの把握からと考え、現場を見る事にしました。



そんなある日、QCサブリーダーを務める横幕君から 会合へ参画の声掛けがあり、私も会合へ出席! テーマ:残業低減と聞いて、重いテーマだと感じて いたところ、思うように活動が進まない状況を垣間みました。



迷っている時間はない!バスケで言えば5秒ルール・・・ (5秒ルールとはボールを5秒以上保持してはいけない というルールです)



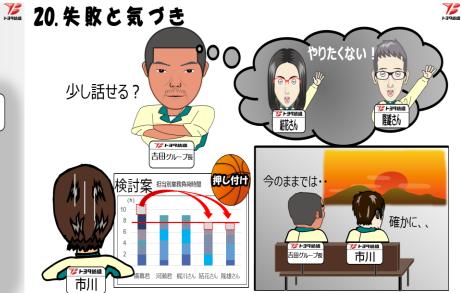
】 ▶39続線

まずは現状把握。すると、あきらかに横幕君の負荷調整が 必須だとわかり、入手した資料を基に調整案を作成し 進めることにしました。



数日後、Meetingで結花さん隆雄さんへ業務調整を 依頼しました。

「これとこれを、お願いします!」すると、二人からは 浮かない返事がありました。



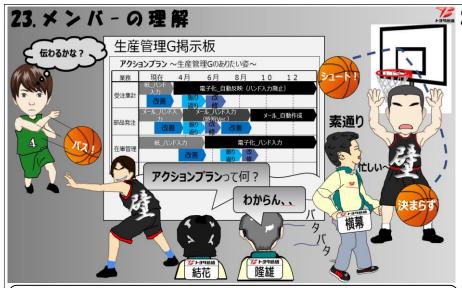
横で見ていた、吉田グループ長から呼び出され、私の進め方 に対して、仕事の基本の大切さについて助言が。 もう一度しっかりと三人から話を聞くことにしました。



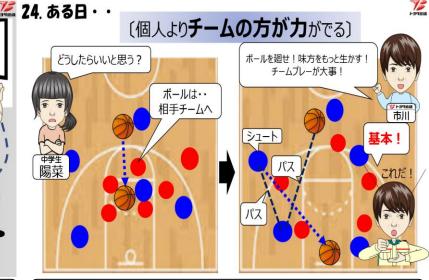
すると二人は過去のトラウマによる苦手意識。 横幕君からは日常業務の対応や突発案件により苦労 していることを知りました。気づかされた私は苦手や多忙 の壁をどうしたら乗り越えられるのか悩みました。



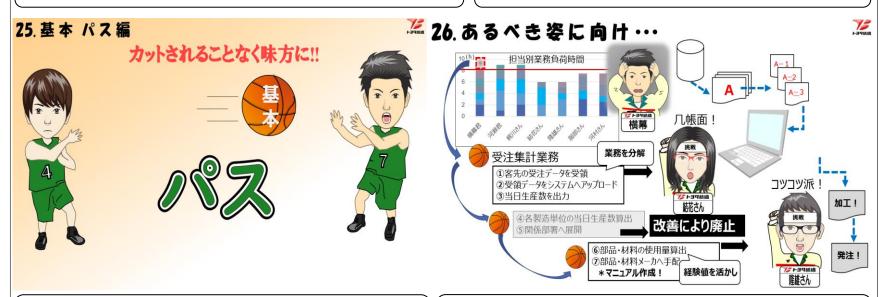
そんな中、吉田グループ長より室、グループ方針の展開が ありました。上司の想いを受け、グループ全員に理解して もらう為には、調整を後回しにならないようにしなければ なりません。



そこで、各業務ごとのアクションプランを作成し、グループの実施事項を一覧表にし掲示してみることにしました。 しかし、掲示するだけでは伝えたつもりになっていただけで、 何も伝わっていません。厚く、高い壁は簡単には壊せませんでした。



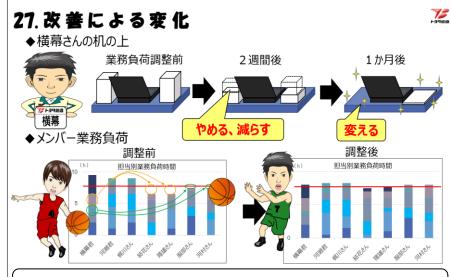
そんな時、中学生の娘から部活の相談が・・ 独りよがりのプレーする仲間のことで愚痴を漏らして いる様子。私はチーム力を上げるために周りの選手 を活かす意識を持つことがバスケの基本と伝えました。 基本が大事!・・・娘の愚痴にも気づかされました。



基本に立ち返り、

もう一度メンバーの強み弱みを確認することにしました。 業務に置き換え展開していきます。

今の配置ではできる人、やれる人へ仕事が集中・・ 作業を分解していけば、負荷を軽減できるのでは。 そこで几帳面な結花さんは①~③のパソコン操作作業 に挑戦!④⑤の作業は改善により廃止。⑥⑦の作業 は経験値を生かし、隆雄さんにはマニュアル作成から 標準化まで挑戦!・・・ボールが回り始めました。



業務を分解し、他のメンバーを巻き込み「やめる、減らす、 変える」を進めるうちに、横幕くんの机の上に少しずつ変化が 表れてきました。更にグループ全体の業務負荷を見てみると、 バランスもとれて残業低減に繋がり、目標クリアー!



将来の適材適所として、メンバーの得意分野を伸ばしつつ、苦手な分野は少しずつ挑戦することで個々の能力を上げながら変化に強いチームを造る一歩になりました。



やめる、減らす、変えるを一つひとつ、確実に実施して いきます!

#### 똝 30. 改善によるメンバーの変化



職場に活気が出始めた時、"次のQCでテーマリーダーを 僕にやらせてください!"と横幕君から提言が。 理由を聞くと、「今までリーダー任せの活動でしたが、 もっとメンバーを巻き込んで問題の洗い出しから対策迄を 経験してもらい、自信を持ってもらおうと思うんです!」と。 私は即OKを出し、横幕君に任せ見守ることにしました。

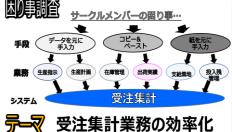
#### 31.全員参加できる会合を目指して





早速、横幕君は全員参加の会合を目的とした、環境 整備を実施し、青空会合やリモート会合を積極的に 取入れ全員参加の会合を進めていきました。

#### 🍹 32. テーマ選定~対策立案







全メンバーに関わる業務の困り事をテーマとし、順調に進んで いたように見えましたが、対策立案で各要因を検証した結果、 3つの対策案が出たものの優先順位が決まらず、進め方に 悩んでいました。徐々に横幕君の表情に余裕がなくなっている ように感じた私はサークルの状況を把握することにしました。

# 33.メンバーヘヒヤリング



すると、メンバーが横幕くんの活動の進め方に疑問を感じている ことが判明。更に話を聞くと、メンバーからは「もっと私達を 頼ってほしい」との声が。それを聞いた私は、私がこの職場に来て 同様に気づかされた事を思い出し、

#### 34. 流れを変える



タイムアウトをとることにしました。

(タイムアウトとは、試合中流れを変える時、試合を 一旦止めて主に作戦伝達や休息を目的に使用 できるルールです。)

139級線

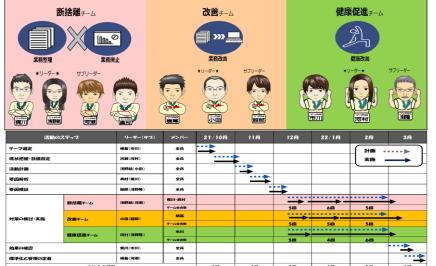


会話が進むにつれ、本人も今の活動が徐々に一人の活動になっていたことに気づき、 うる覚えですが、会話の最後に"QCがしたいです…"と某バスケ漫画の名言を思わせるセリフを 言っていたと思います。早速、次の会合でメンバー全員が意見を出し合うことにしました。





🌠 37.活動計画



一門

メンバーから幾つか意見がでた中、ベテランの奥村さんからの意見にメンバーも賛同。チームに分けて3つの対策案を確実に実施するために必要な知識や性格、意欲など各メンバーの適正調査を実施しました。

メンバー全員が活躍できるよう、若手、ベテランが入り 交じったチームを編成しました。週一回の定例会の場で 他チームと進捗確認会を設定し、活動計画は各ステップ で担当者を決め、表のように実施していきました。

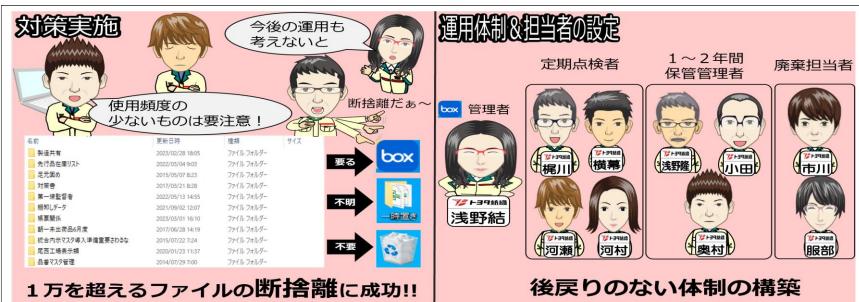
# 38. 断 捨 離 チーム





断捨離チームでは、要る・要らないの層別と、整理できる環境づくりを進めます。

はじめに、チャットアンケートの結果、チーム目標を満足度指数16点とし、現状の課題から個人管理や使用していないファイルなど、ムダなファイルが溢れていたことから・・・



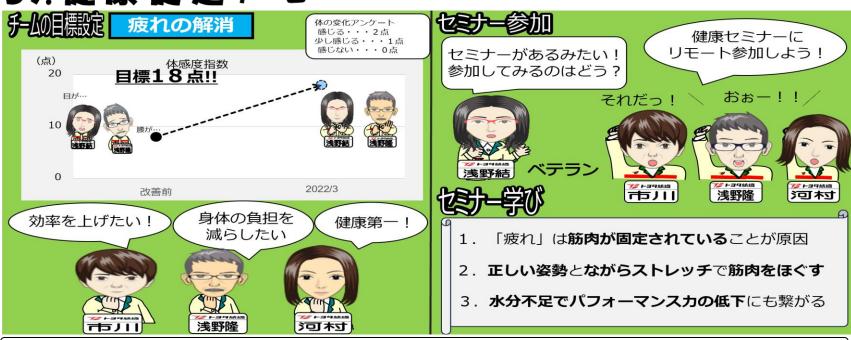


#### ファイルを階層別に分類し、運用ルールを決定

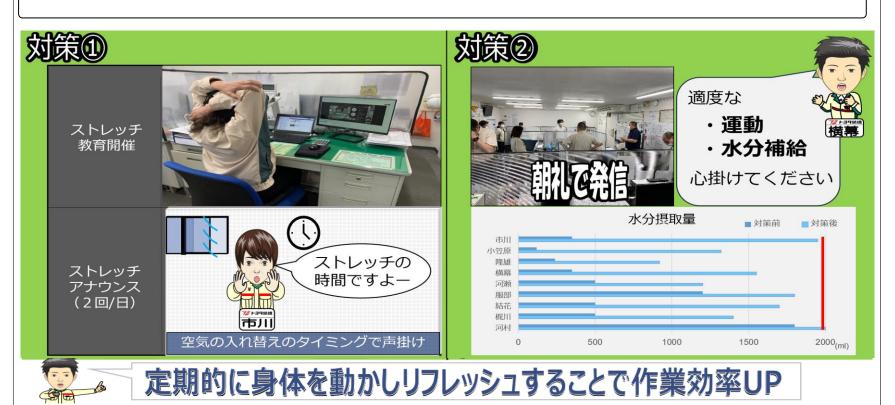
断捨離の原則である『要るもの・要らないもの・不明なもの』の3つに層別していきました。

結果1万を超えるファイルの断捨離ができ、今後同じ事を繰り返さない様、運用体制、担当を設定しました。

# 39. 健康促進チーム

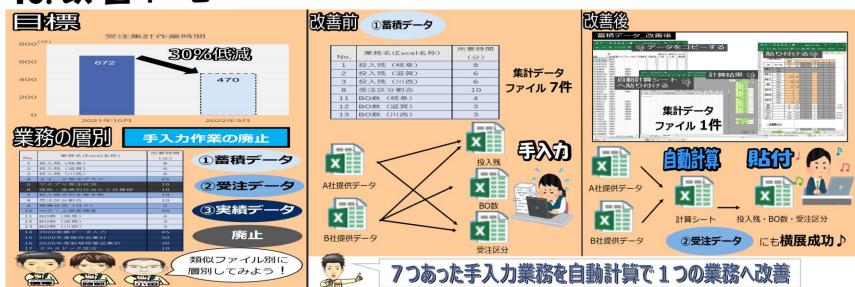


健康促進チームは、断捨離チーム同様にアンケートを実施し、メンバーの体感度指数18点を目標に活動を 進めました。途中、進め方に苦労していましたが、全体会合でセミナーの開催を知り、



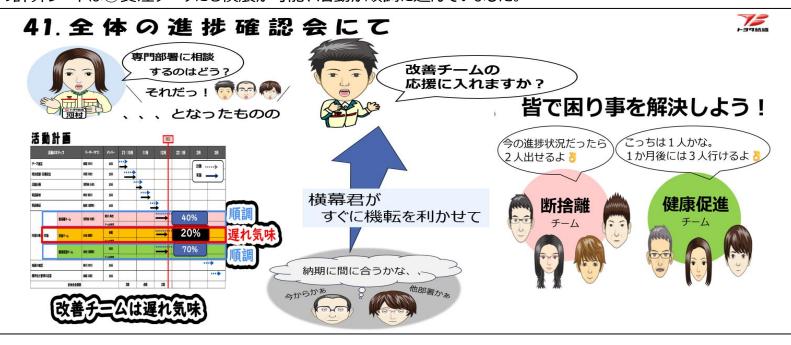
セミナーで学んだ"ながらストレッチ"や"適度な水分補給"を朝礼で呼びかけ活動を進めていきました。

### 40. 改善チーム



改善チームは、手入力作業の廃止です。受注集計作業の30%低減を目標に進めていきます。

業務を層別した結果①蓄積データは、改善前二つの客先データを、手入力を繰り返しながら、7つのファイルに作り分けていました。改善後、客先データをコピーし、計算シートへ貼り付けるだけでファイルが作成できるようになりました。 この計算シートは②受注データにも横展が可能、活動が順調に進んでいました。

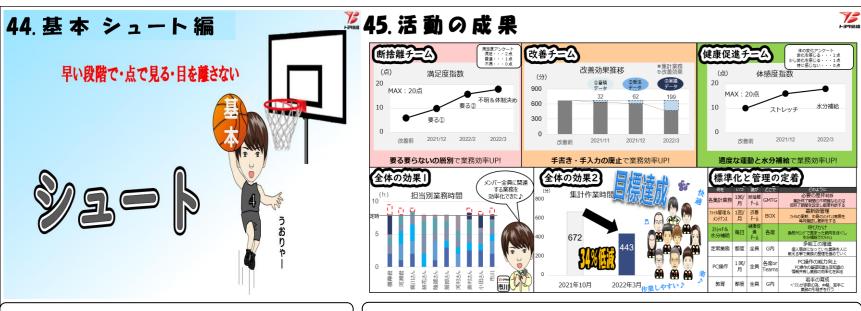


しかし、③実績データも同様に横展!とはいかず、会合時自分達では対策が困難であることをメンバーへ相談したところ、 専門部署へ相談することになりました。メンバーの声から活動期間や難易度を考えると今の体制では限界を感じた 横幕君は他チームの進捗状況をみて応援を要請。システム開発に向けて進めていく事にしました。



まとめた困り事から、ありたい姿をシステム部署担当者へ伝え、快諾を得ることができました。又、他チームの応援もあり、要件定義では開発費用を抑えつつ、中長期で想定される追加事項も盛り込んだ内容に。システム開発に必要なステップを進めながら、トライ&エラーを繰り返し、企画立案から3ヶ月で『客先受注データ集計システム』が完成!!

改善前は客先データから苦労して抽出作成していた 4つの集計作業を、改善後は集計システムから ワンクリックで自動作成。手書き・手入力を廃止。 作業時間も大幅に低減でき、昨今DX化が叫ばれ る中、QCサークルでもデジタル化を進めてきたため、 今回の様な改善に繋げることが出来ました!



活動の成果と、この2年間走り続けた結果、メンバーの変化を振り替えります。

成果は、各チーム目標・目的を達成できました! 全体効果でも、各チームの総合力により、メンバー全員の受注集計に 関連する業務時間を、3 4 %低減し目標達成! 標準化と管理の定着までしっかりやり切りました。

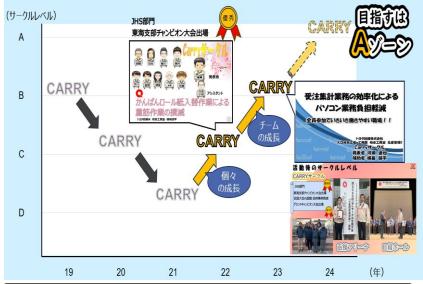


見事にやり切ってくれた横幕君と、活動を振り返り・・・

「バスケも、仕事も変化に早く対応する事が大事!それに、仕事を抱えちゃうとマンネリ化し動きが遅くなる事も・・」 それを聞いて横幕君の成長を感じました。

更に、結花さん、隆雄さんからも、「やりたくない!」から「人のためにやれることをやる!」と前向きの一言に嬉しくなりました。





前回までの活動を振り返り、サークルレベルも年々 上昇しており、今回ご紹介した事例では、第一回 グランドチャンピオン大会へ出場し、本部長優秀賞が 授与され、サークルも更に活気づいてきました。

# 🌠 48. 反省と今後の課題 サールlaiは建動研修巣(!歳ぬ! 🌠



試合は始まったばかり! 『何でも話し合え、やりたいことが 提案出来る職場、みんなが活躍できる職場』を目指し、 チームで走り続けています。

ラスト0.1秒でも諦めずに。有難うございました。